

事業所名 グループホーム じーちゃん、ばーちゃんのお家
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年12月26日

評価機関名 (株)東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 通所介護管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士、ヘルパ―養成講座講師、生活相談員
B:現職 介護福祉施設勤務
資格・経験 介護老人福祉施設(12年)、ホームヘルパー3級

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>・基本理念として、</p> <p>『1. 毎日の生活の中の食事・入浴・排泄・睡眠などのあらゆる場面で基本的な権利が守られる支援を実践しています。』</p> <p>『2. 人間の幸せな生活を支える基本は安心と思いやり(愛)です。安心して幸せを感じることが出来るよう支援します。』</p> <p>『3. 人間は目標を持って生活することが生き甲斐になります。生きている喜び、明日への希望が持てるように支援します。』</p> <p>を掲げ、あきらめを希望に変える支援をめざしている。</p> <p>・重度になってもホームで過ごせるように、「重度化した場合の指針」を定めている。入居者や家族と相談しながら、安らいでもらえる介護をめざし、職員の中に看護師を加えた体制作りや職員のレベルアップを図っていている。</p> <p>・入居者との馴染みの関係を築き、落ち着き、安心できるケアを提供している。ホーム長を軸として管理者が連携を取り合い、開設以来の職員と共に常に前向きに取り組み、入居者の現状に即したより良いケアの提供をめざしている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・年間の活動計画を立て、四季折々の行事が楽しめるように取り組んでいる。アジサイを見に出かけたり、紅葉見物に出かけるなど、生活に潤いと楽しみが持てるように支援している。また、紅葉見物の話をしたり、秋の歌を唄いながら拾ってきた色とりどりの落ち葉で貼り絵を作るなど、情動に訴えるものへと活動を発展させている。</p> <p>・居室から見えるピラカンサスの紅い実を食べに来る小鳥を眺めて過ごされている方、庭に出て景色を眺めながら草を抜いている方、毎日の洗濯物干しを自分の仕事だと思っている方々々、一人ひとりの特性を見抜き、好きなことや出来ることを自然な形で取り組めるように支援している。</p> <p>・職員が気持ちにゆとりを持って過ごせるよう職場環境を整えることは、ひいては入居者が落ち着いて過ごせる居心地の良い生活の場へと反映すると考え、代表者・職員は常に前向きに、モチベーションを高め合いながらケアの向上に日々努めている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

・東北の城下町、津山市にホームはある。JR津山駅から程近く、国道53号線から少し入った山裾に広がった住宅地の中にある。鉄骨造りの建物ながら、どこか城下町の家並みをイメージさせるような落ち着いた構えである。門から玄関までの芝生の庭は、広々として気持ち良く、建物全体が裏山の秋の景観と一体となっている。

・開設以来、その経緯の中で基本理念を踏まえ、「あきらめを希望に変えられるよう支援します」の考えに則って、その時々入居者の状況に合わせたケアを提供している。現在は、「重度化した場合の指針」を定め、その介護方針や職員に関する指針及び家族へのケアなど細部に亘る内容で、重度化した入居者にも対応できる体制を作り、入居者・家族がいつまでも希望を失わず、安心して暮らされたいよう支援している。

・居室から手の届きそうなところに柿の実が鈴なりになっており、リビングには中庭から入ってくる光が明るく照らしている。庭へは自由に出入り、太陽の光を十分に浴びながら外気浴も楽しめる。すぐ隣には大きな畑があり、大根の双葉がぎっしりと芽を出している。入居者が過ごしてきた日常と変らぬ風景がすぐそばにあり、大きな安心感がある。

・脳神経外科・内科のある医療機関との連携も図り、医療面での万全を期している。緊急時にもすぐに対応してもらえ、入居者・家族共に安心感がある。また、職員の中に看護師を加え、職員全員が救急救命の講習も受け、重度化への備えを固めている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

運営推進会議を重ね、地域との交流・連携に力を注いでいる。今後、地域との交流・連携を継続していく中で、益々その輪を強固にし、地域への啓発や防災への取り組みに着手していかれることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・代表者は、入居者への言葉がけや態度など、目上の方に対する対応について重点を置いて取り組んでおり、毎月のミーティングなどで繰り返し職員に話し、研修を通して徹底を図っている。職員の対応はとてもしっかりと、その方の立場に立って考え、行動しており、常に尊敬の念を持って接している。</p> <p>・その人らしく過ごしてもらえよう、入居者の気持ちに沿った支援を心がけている。家事や手作業など、自分からしたくなり、楽しめるように支援している。排泄も、時間を見たり仕草を見て声かけや誘導をするようにしている。</p> <p>・面会簿は個人別に分け、窓口で面会票に記入するようになっている。個人情報取り扱いについては、玄関に掲示しており、訪問者の協力も仰いでいる。また、介護の実習生などへは、ホーム内で知り得たことについて外部に洩らさないように誓約書を定めている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>・ヒヤリハット報告書の中には、その時、他の職員がどこで何をしていたかを詳しく項目や、状況図を描くようになっており、ヒヤリハットした状況が詳しく分析できるようになっている。その日のうちに検討会議を開き、不在の人にもきっちり伝わるようにして再発防止に努めている。</p> <p>・トイレや浴室、脱衣室の白い手すりに赤いテープが巻いてあり、入居者が確認しやすいように工夫している。ちょっとしたことではあるが、事故のないように気遣う気持ちが表れている。</p> <p>・職員の中で、防災・物品・生活・園芸・部屋などの担当を決め、それぞれが自分の担当について前向きに取り組み、成果を上げている。また、自分達ができることや入居者にしてもらうことについて月の目標を決めてアクティブに取り組み、職員全体のモチベーションを高めている。</p> <p>・衛生面には力を入れており、手洗い・うがいは訪問した方全員にしてもらっている。入居者については、食事の前には手洗いうがいをすることが習慣となっている。感染症対策としては、ノロウイルス対策の対応物品を2セット用意し、すぐに取り出せるようにしており、昨年は風邪が蔓延しなかった。</p>		